

第 11 回 ITS 世界会議

11th WORLD CONGRESS ON ITS, NAGOYA AICHI 2004, JAPAN

中嶋 康博* 網田 裕一* 名倉 俊明** 佐藤 弘子** 鈴木 多恵子* 牧村 和彦*

By Yasuhiro NAKAJIMA, Yuichi KINUTA, Toshiaki NAGURA, Hiroko SATO, Taeko SUZUKI and Kazuhiko MAKIMURA

1. 学会の概要

今年で ITS 世界会議は 11 回目となり、日本では 1995 年の横浜での第 2 回会議以来、9 年ぶりの開催となりました。日程は 2004 年 10 月 18 日～10 月 24 日の 7 日間、会場は“ポートメッセなごや”にて行われました。

今回の会議は、前回会議までのような専門家のための会議とは異なり、新たに「市民参加」というコンセプトが打ち出され、市民向けの行事（OASIS 21 での ITS フェスティバルの開催、展示会への市民参加、ITS スタンプラリーの開催（名古屋各地にある ITS 技術（DSRC を活用した駐車場料金自動決済システム等）の訪問・体験）など）が行われたことに特徴があります。

このように市民へ ITS 進展の情報発信したため、今回の世界会議の展示会には約 6 万人（従来は約 1 万人弱）の参加がありました。

【OASIS 21 での展示】



【ポートメッセなごやでの展示】

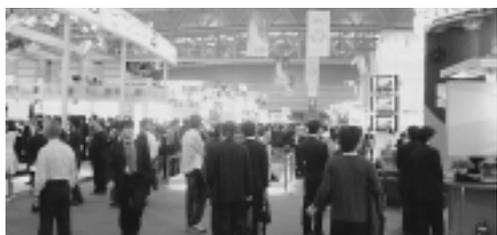


写真 展示ブースの様子

2. 専門家会議、テクニカルツアー

今年の会議では、例年通りの専門家の会議・行事（テクニカルセッション（技術論文の発表）、テクニ

カルツアー（日本の ITS 技術のデモ、実用化されている物件等を巡るツアー）など）並びに新たな取り組みとして、インタラクティブセッションが開催され、活発な議論が行われました。IBS ではインタラクティブセッションやテクニカルツアー（TT3）の中で中部地方整備局から受託し、進めている道路工事マネジメントシステム（ROad COstruction MAnagement System : ROCOMAS）を国内外の専門家や市民に情報発信しました。

【ROCOMAS の展示】



【プレゼンの様子】

写真 テクニカルツアー（TT3）の統合道路管理情報センターでのプレゼンテーションの様子

3. おわりに

IT の技術革新は急激であり、今年の会議・デモにて発表された技術は数年後（2～5 年？）には既に一般に普及されているのかもしれませんが。

ITS 世界会議は、私たちが専門としている交通計画分野以外にも機械・電気分野等異分野の方々の発表も多くあります。その技術進歩を目の当たりにし、如何に ITS の技術を我々が業務としている都市交通計画、地域計画等に活かしていくのかを考えるよい機会です。

来年は米国サンフランシスコでの開催です。是非、参加されてみては如何でしょうか。

* 交通研究室 ** 情報システム研究室